

博士論文の審査結果の要旨

専攻	医学	分野	臨床医学研究
学籍番号	18M3003	院生氏名	奥井 文子
通学キャンパス	成田キャンパス		
論文題目	Validation of the Japanese Version of the Singing Voice Handicap Index (邦題 : 日本語版 Singing Voice Handicap Index の信頼性と妥当性の検証)		
審査結果 (枠で囲む)	合格		

＜審査結果の要旨＞

主論文研究概要は以下の通りである。

【目的】 音声障害の影響の程度を評価するため、自己評価質問票である Voice Handicap Index (VHI) が本邦では使用されている。しかし、VHI では歌唱に対する障害については十分に評価することができなかった。そこで本研究では、歌唱に対する自己評価質問票である、Singing Voice Handicap Index (SVHI) の日本語版を作成し、その信頼性と妥当性、有用性を検証した。

【方法】 日本語版 SVHI に関して、原著者から逆翻訳版と原版の等価性について承認を得たのちに、音声障害のある歌唱者と健常歌唱者に回答してもらった。日本語版 SVHI の信頼性は内的整合性と再現性で検証し、妥当性は構成概念妥当性と弁別的妥当性で検証した。構成概念妥当性は、歌唱に対する困難度を自己評価した visual analog scale (VAS) 値と SVHI 値の相関で評価した。弁別的妥当性は、音声障害のある歌唱者と健常歌唱者の SVHI 値を比較して評価した。

【結果】 音声障害を訴える歌唱者 102 人と健常歌唱者 88 人が本研究に参加した。日本語版 SVHI は内的整合性と再現性が高く、信頼できる結果となった。構成概念妥当性では、SVHI と VAS の値に優位な相関を認めた。弁別的妥当性において、音声障害のある歌唱者の SVHI 値は健常歌唱者より高値であった。また、歌唱時にのみ音声障害を訴える歌唱者と健常歌唱者の VHI 値には有意な差はなかったが、SVHI では歌唱時にのみ音声障害を訴える歌唱者の SVHI 値が健常歌唱者よりも有意に高値であった。

【結論】 本研究により日本語版 SVHI が国内で初めて検証され、その信頼性と妥当性が示された。また、歌唱にのみ障害を訴える歌唱者と健常歌唱者の VHI 値に優位差を認めなかったが、SVHI では歌唱にのみ障害を訴える歌唱者の値が健常歌唱者と比較して有意に高値であることを世界で初めて明らかにした。この結果は、VHI に反映されない軽微な音声障害であっても、SVHI では歌唱に与える影響として検知できる事を意味している。話声に影響のない程度の小さな声の変化であっても、声の質に敏感な歌唱者にとっては重要な問題であり、それを反映できる SVHI は非常に有益だと考える。

本研究は倫理的に問題なく実施され、論証・論文形式も適切である。本研究の新規性は、既存の VHI に反映されない程度の音声障害であっても、SVHI であれば歌唱に与える影響度を有意に反映できる事を初めて示した点にあり、非歌唱者と治療基準が大きく異なる歌唱者の歌声に対する音声障害の評価、治療に対する標準化と発展に寄与する研究として高く評価できる。

審査会は、2021 年 12 月 27 日に赤坂キャンパスで実施し、口頭試問において適切に応答した。また、Discussion を改善するため、論文要旨の一部修正を求めたところ、適切に修正された。

以上の結果から、審査会の審査員全員は本論文が著者に博士（医学）の学位を授与するに十分な価値があるものと認めた。

論文審査担当者	主 査	岡本 秀彦
	副 査	奥仲 哲弥
	副 査	野口 佳裕